

“昭和100年”を迎えて

韮崎市の人とくらし

産業・交通・災害編



「舟山橋の朝」昭和50年頃 池田光一郎氏撮影

2025

2026

4/1 ~ 3/22

火

日

午前 午後
9時~5時

入館無料

休館日：月曜(祝日の場合は開館)
祝日の振替休館日、年末年始など

韮崎市ふるさと偉人資料館

〒407-0015 山梨県韮崎市若宮 1-2-50
韮崎市民交流センター・ニコリ1階
電話 ☎ 0551-21-3636

*休館日等はミュージアム甲斐ネットワークの当館ホームページでご確認ください
https://www.museum-kai.net/museum_home/116



「昭和 100 年」とは？

令和7年(2025)は昭和の年号に換算すると「昭和 100 年」になり、令和8年(2026)は元号が昭和に変わった日(1926年12月25日)から100年目にあたります。

戦争や水害を乗り越えて

現在では当たり前にある社会インフラ(鉄道、道路、学校、医療・衛生・福祉に関わる公共施設など)は、昭和時代に先人の手によって整えられてきました。戦争や水害に苦しみ、時代に合わせて産業の転換を図るなど、苦難と知恵の積み重ねが今のくらしの^{いしずえ}礎になっています。

この機会に、**韮崎市の昭和時代の出来事を振り返り、先人のあゆみをたどってみませんか？**

今年度は「**産業・交通・災害**」をテーマに展示します。



すぎやまゆきお
杉山幸男



あなみずようしち
穴水要七

人物の紹介

山梨中央銀行の誕生 …… 栗原信近、細田武雄
養蚕改良と坂井遺跡の調査 … 志村滝蔵
船山橋のコンクリート化 …… 杉山幸男
信玄橋の開通に貢献 …… 穴水要七 など



くりはらのぶちか
栗原信近



しむらたきぞう
志村滝蔵



昭和 34 年台風災害

写真① 韮崎市所蔵
写真②③ 池田光一郎氏撮影



② 韮崎駅や道路の発展



③ 養蚕から果樹栽培へ

【ご注意】 昭和時代の写真展ではありません。
年表やパネル・資料などを展示して、**韮崎市の昭和時代の出来事や韮崎市ゆかりの人物について**紹介します。

韮崎市ふるさと偉人資料館

入館無料

「ふるさとの先人に学び、^{いま}現在に活かす」をテーマに、
韮崎市ゆかりの人物をパネルや資料で紹介しています。

JR 韮崎駅前の市民交流センター内にあります

山梨県韮崎市若宮 1-2-50 韮崎市民交流センター・ニコリ 1 階
アクセス: JR 韮崎駅前すぐ/中央道韮崎 IC より車約 10 分
駐車場: 韮崎市民交流センターの立体駐車場(4時間まで無料)



韮崎市民交流センター
ニコリ

